



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

臨時議会報告

新本庁舎建設工事契約

100億7050万円 (税込み)

7月30日(金)、臨時議会が開かれました。議案は、新本庁舎建設工事請負契約の締結、一般会計補正予算(第5号)など6件で、全て全会一致で可決されました。

3事業者が入札 大林組・東武建設・正和工業JVが落札

予定価格は、110億5500万円が入札は3業者でしたが、大林組・東武建設・正和工業特定建設工事共同企業体(JV)が100億7050万円(税込)で落札しました。(下表) 工期は2023年(令5)9月15日までです。

- 大林組・東武建設・正和工業JV
100億7050万円 入札率91.1%
評価値97.657 技術評価点37.657
- 清水・高元・金杉JV
99億4950万円
評価値92.305 技術評価点32.305
- 大成・大和JV
101億7060万円
評価値95.000 技術評価点35.000

松本ひろかず議員が「入札金額の最も低い業者ではない業者が落札したのはなぜか、請負業者の実績はどうか」などについて質疑しました。総務部長は「今回は、金額

だけの一般競争入札ではなく、品質、地元業者の参入など総合評価一般競争入札で実施した。評価点の最も高い業者を選定した。大林組は熊本県山鹿市、福岡県飯塚市、兵庫県大野市、東武建設は日光市、正和工業は実績なし」と答弁しました。

松本議員は「品質の確保、地元業者の育成、地域経済の活性化を考えた契約で、近隣市の一般競争入札と比べて割高となっていることなど市民に丁寧の説明することが必要」と主張しました。

敬老会開催中止
今年も商品券2千円配布

- 近隣市の本庁舎建設
- 草加市 一般競争
61億9000万円、落札率84%
 - 蕨市 一般競争
29億6400万円、落札率78%
 - 志木市 総合評価
50億1410万円、落札率92%
 - 越谷市 総合評価・分離発注、入札1社のみ
50億7600万円、落札率100%

- 一般会計補正予算は6億6577万円(国庫支出金)で、主な歳出は次の通りです。
 - ①ワクチン接種費用 3億4636万円
 - ②敬老会中止・商品券配布 8365万円(3万8千人)
 - ③がんばる商店街応援事業 4842万円(32商店街に20万円、840店に5万円)
 - ④米生産者に種苗代の支援 4274万円(耕作者対象千㎡あたり3500円)
 - ⑤公民館にWi-Fi、自動水栓 3522万円
 - ⑥市民文化会館にWi-Fi、自動水栓 1123万円
 - ⑦修学旅行等キャンセル料補助 3015万円
 - ⑧消防署仮眠室感染予防対策 2142万円
 - ⑨給食に地元産デザート提供 352万円(ブルーベリー、イチゴのゼリー各1回)
- その他、感染症対策、公共施設に自動水栓の整備などが予算化されました。

8月15日付は休みます



20万都市にふさわしい

市民プール・体育施設の整備を

春日部市の人口は、2005年の合併直後は24万3千人でしたが、今年6月には23万3千人へと、1万人も減少してしまいました。特に40歳代以下の人口減少が深刻です。

これは、市民プールの廃止や、福祉・文化・教育・スポーツの分野で、サービスの切り捨てが行われたことが原因です。今こそ市民の切実な願いに答え、子育て世代に選ばれるまちをつくる時です。

20万都市で公営プール無しは春日部だけ

1975年にオープンした大沼運動公園の市民プールは、長年にわたり市民に親しまれ、ピーク時には約19万人もの利用者がありました。しかし、

2009年夏の営業を最後に休止となり、2013年に廃止。現在、春日部市に市民プールはありません。

越谷市やさいたま市など近隣自治体では市民プールを設置しています。(左表参照)

近隣市の公営プール設置状況

春日部市	なし(2013年廃止)
さいたま市	9カ所(3カ所通年)
越谷市	1カ所(通年)
草加市	2カ所(県営・1カ所通年)
上尾市	1カ所(通年)
上尾市	1カ所(県営)

県内の人口20万人以上の市で、市民プールが無いのは、春日部市と上尾市だけです。上尾市には県営プールがありますが、公営プールが無い

のは春日部市だけです。

住民との約束まもり市民プールの建設を

低料金で一日中遊べる市民プールは、子育て世代からも高齢世代からも待ち望まれています。

多くの市民が市民プール建設を望んでいることは、2015年に4035筆の署名を添えて提出された「温水市民プールの建設を求める請願」からも明らかです。

また、市は豊野地域の環境センター建設の際に、迷惑施設であるごみ焼却場の建設と引き換えに、余熱を利用した温水プールの建設を地元住民に約束し、温水プール建設用に22,896㎡の土地を購入入しています。市民の切実な願いである市民プールの建設は、地元住民との約束でもあ

ります。早急に建設すべきです。

体育施設の整備も大幅な立ち遅れ!

合併後に整備された体育施設は殆どありません。

まともなサッカー場はなく、大沼運動公園の陸上競技場は殆ど改修されず、中学生の大会は野田市の陸上競技場を使わせてもらっている状態です。

これでは、とても「日本一暮らしやすいまち・日本一子育てしやすいまち」とは言えません。市民の願いは「子どもが育つ環境や教育環境のよいまち」です。人口減少に歯止めをかけるためにも、市民プールをはじめ、スポーツ・リクリエーション施設の整備を重点施策として、早急に取組むべきです。